

2026

株式会社セカンドセレクション
会社案内



株式会社セカンドセレクション

セカンドセレクション = 第二の選択肢

私たちは、日々複雑化・多様化する社会の中で、お客様一人ひとりにとって「本当に必要な選択肢」をお届けすることを使命としています。

社名に込めた思い、それは「セカンドセレクション = 第二の選択肢」。

世の中の出来事は正解が一つとは限らず、ときに「もう一つの視点」や「別の道」が、**新しい可能性を切り拓くきっかけ**になると私たちは信じています。

医療の世界に「セカンドオピニオン」があるように、テクノロジーの世界において、**お客様が気づかなかった選択肢を提示**し、私たちならではの付加価値を提供できる存在でありたい。そのような思いで、日々変化を前向きに捉えながら、成長と挑戦を続けてまいります。



会社概要

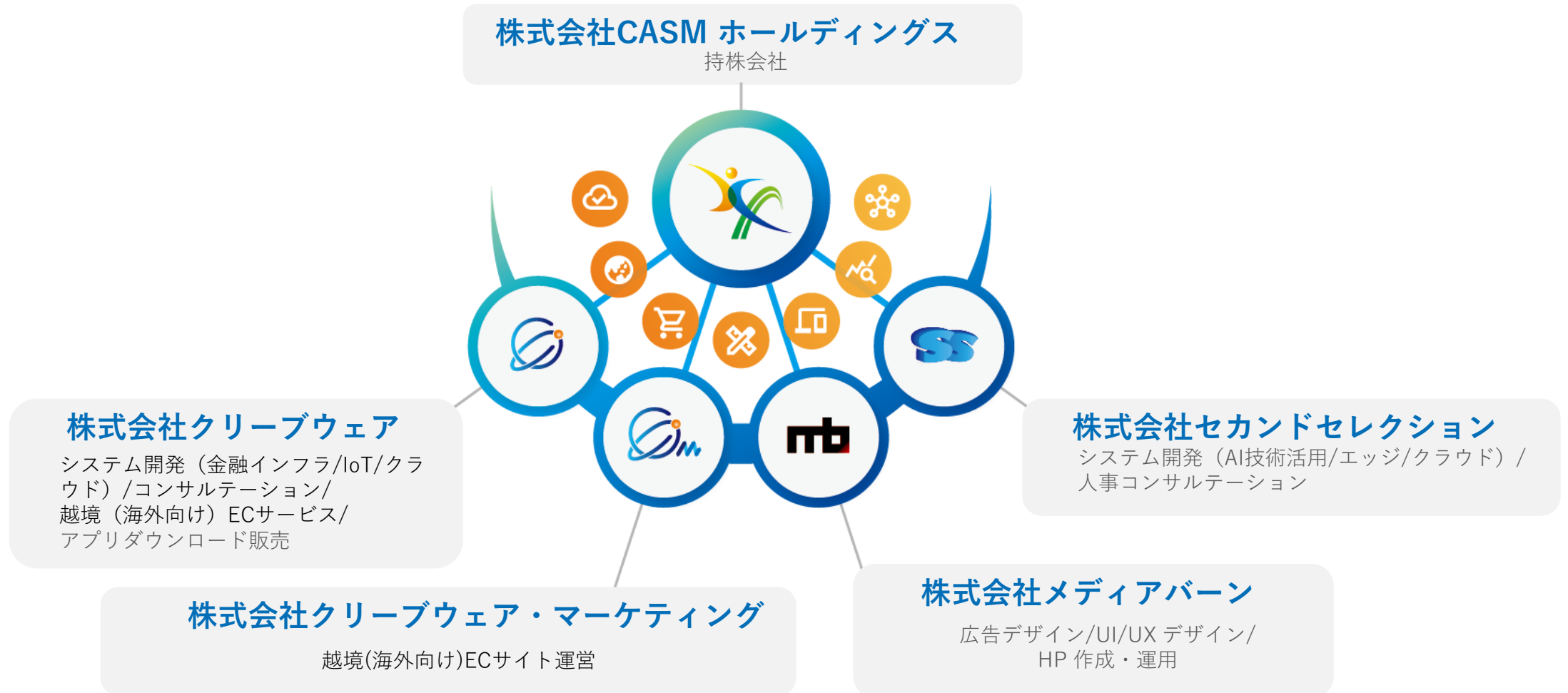
設立	2007年6月21日（第21期）
代表者	代表取締役 丸岡 慶士
事業内容	システム開発（IoT通信、組込み開発、Webアプリケーション開発、AI） システム保守・運用、コンサルティング事業
売上 （第20期）	単体：2.83億円 グループ合計：33.6億円
資本金	20,000千円
従業員数	21名（2026/6/1 現在）※AIエージェント3名含む
事業所	大阪本社 大阪府大阪市北区豊崎3-20-12 パールグレイビル 8F
グループ会社	株式会社CASMホールディングス、株式会社クリーブウェア、株式会社クリーブウェア・マーケティング、株式会社メディアバーン
主要取引先 （順不同）	オムロン株式会社、帝人株式会社、株式会社NTT スマイルエナジー、株式会社かんでんエンジニアリング、第一実業ビスウィル株式会社、東レエンジニアリング株式会社、株式会社クボタ、TOPPAN株式会社、理化学研究所(SPring-8)、コニカミノルタ株式会社、パナソニック株式会社、ダイキン工業株式会社、スミセイ情報システム株式会社、株式会社インターネットイニシアティブ



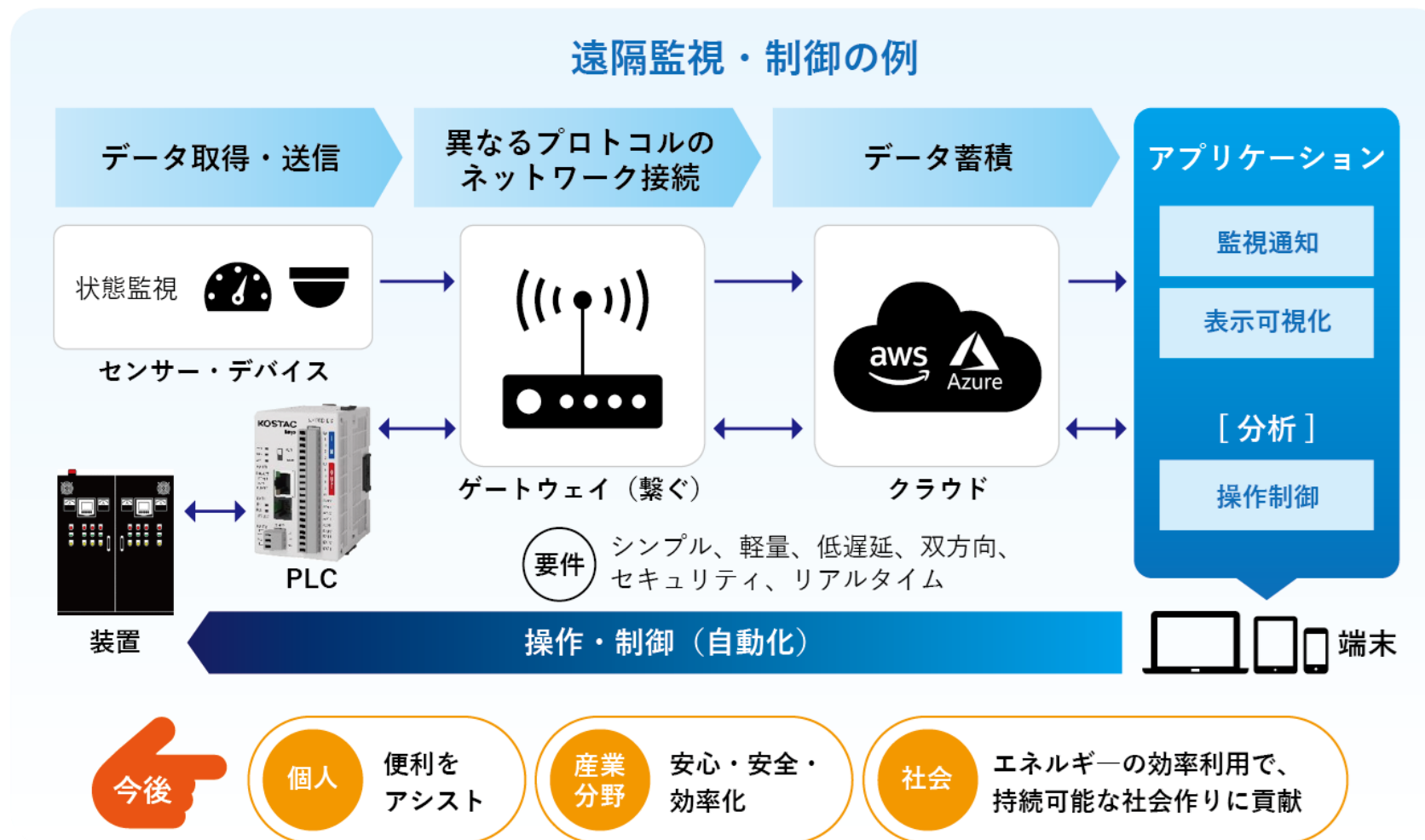
大阪本社

グループ会社のご紹介

情報技術で豊かな未来を創造する

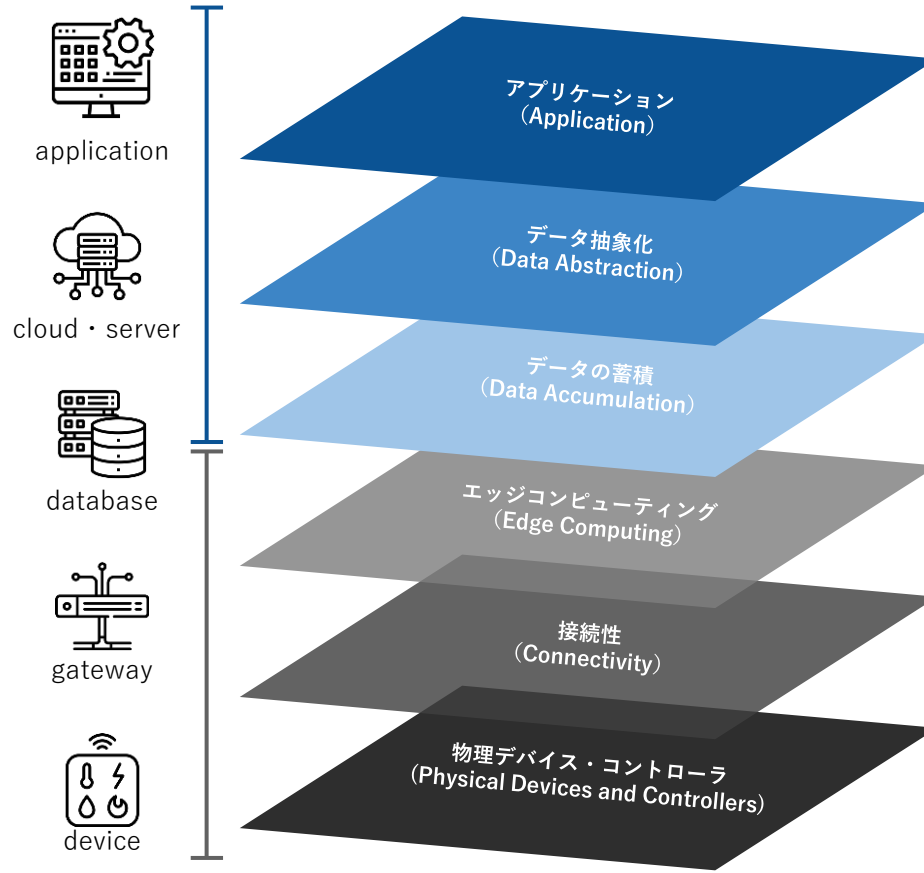


IoTシステム開発（エッジ・クラウド）に強み

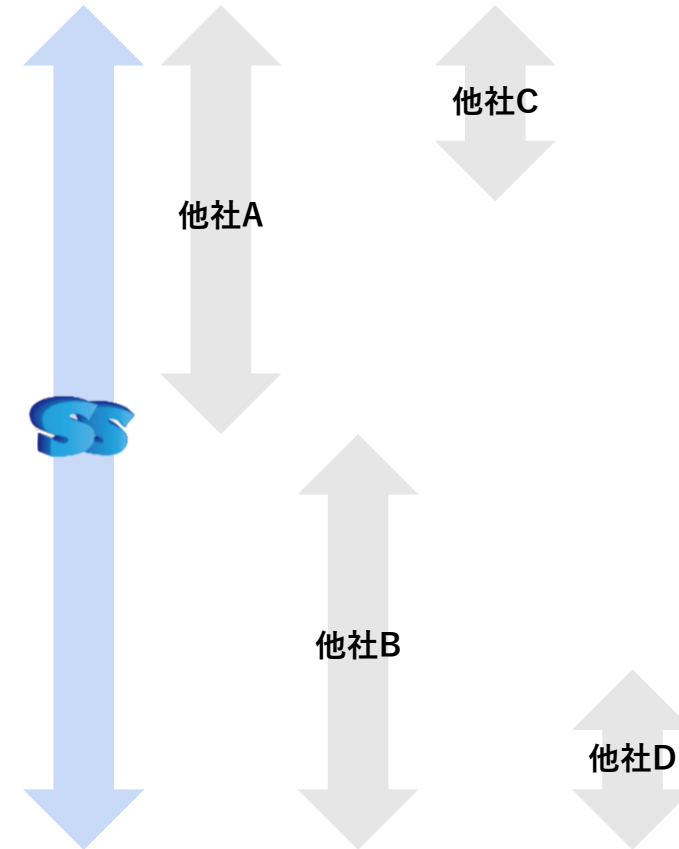


IoTシステム開発の担当領域と優位性

IoTシステム開発各階層



IoT領域同業他社様との違い



開発実績

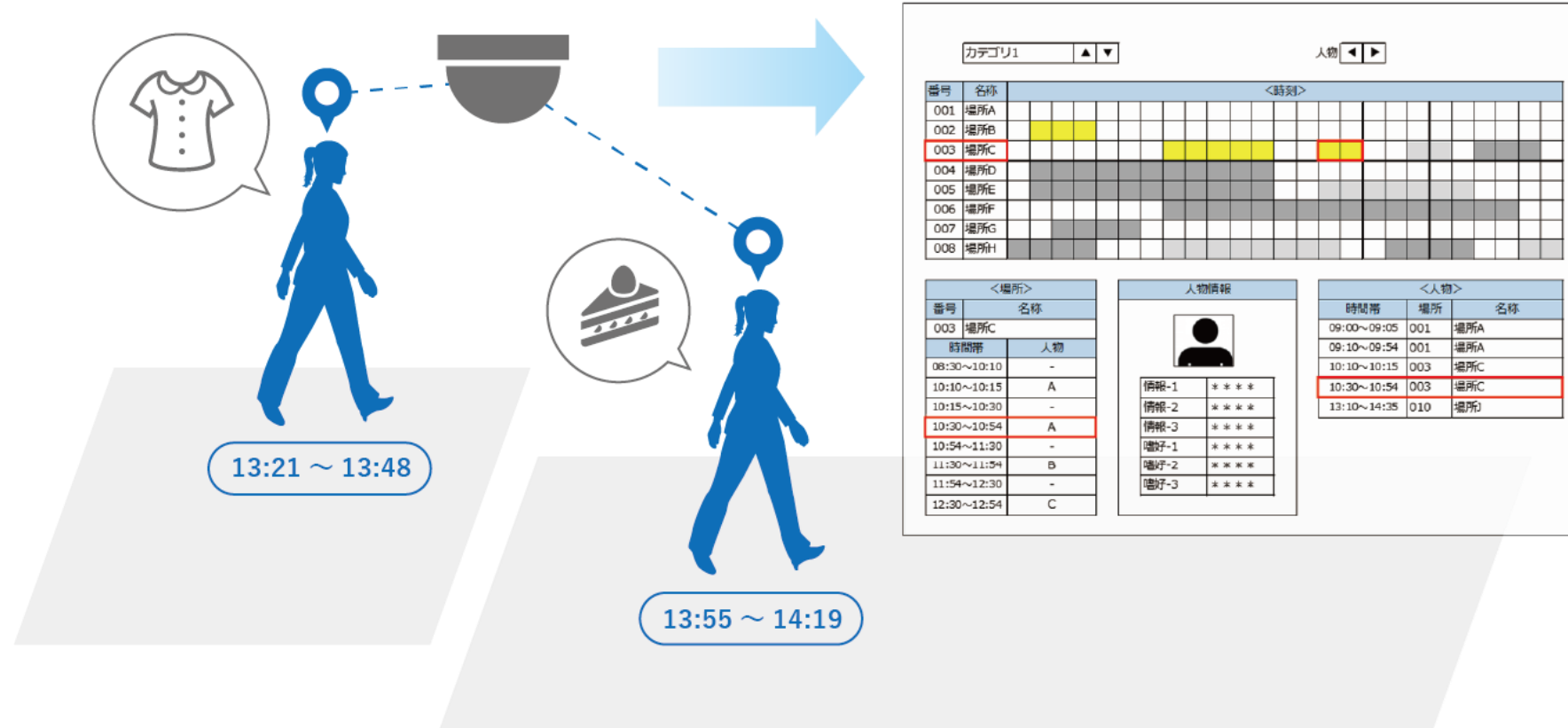


株式会社セカンドセクション

人物追跡システム

人物をAI追跡、滞在時間を特定

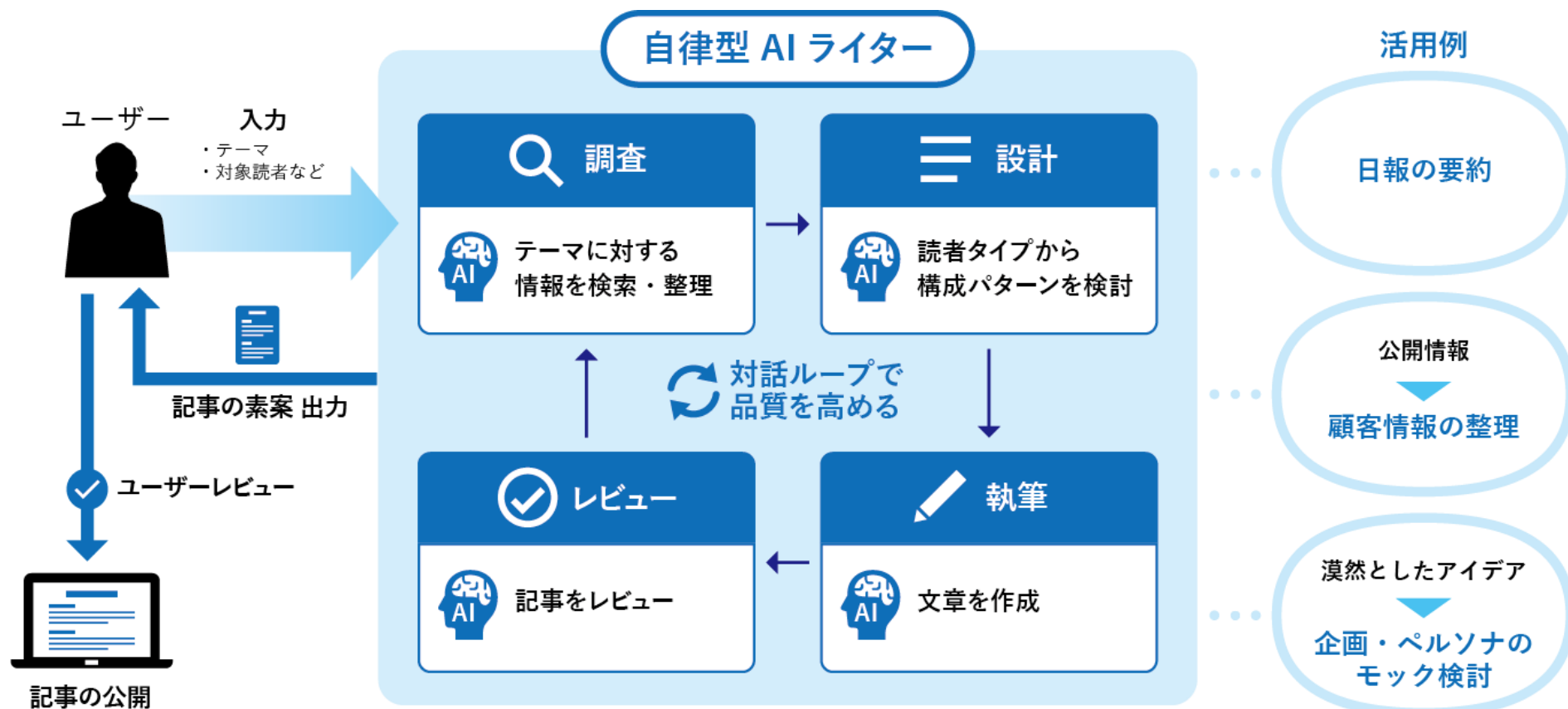
施設に滞在する人物をカメラ映像を基にAIで追跡し、
ある位置における滞在時間を特定、嗜好と紐づけて傾向を分析



マルチAIエージェントの活用

自律型AIライター構築による記事作成の自動化

複数のAI エージェントが役割を分担し連携（マルチエージェント方式）
大まかな入力情報から自動で記事を生成する



社内情報問い合わせ窓口（チャットボット）

導入前の課題

- 新入社員が社内資料や就業規則把握に時間を要する
- QA時の先輩社員、バックオフィスの負荷

導入AI・ソリューション

- NotebookLM

導入後の成果・効果

- チャットベースで遠慮なく質問が出来るので、新入社員のスムーズなオンボーディングが可能
- 問い合わせが大幅に減少し、先輩社員、バックオフィス負荷軽減
- 回答根拠を出力させることでファクトチェックがスムーズ



本画像はAIとの共創によりデザインしました

1on1アジェンダ自動作成

導入前の課題

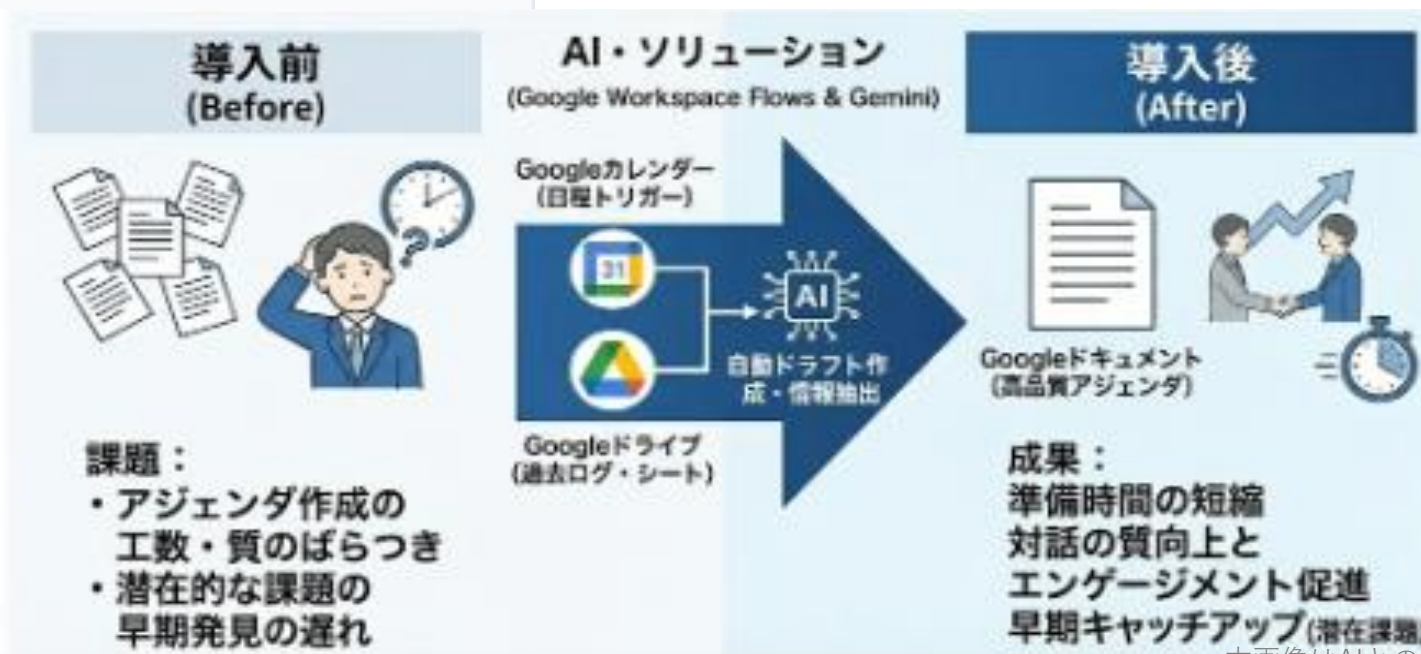
- アジェンダ作成の工数・質のばらつき
- 潜在的な課題の早期発見の遅れ

導入AI・ソリューション

- Google Workspace Flows/Gemini (Gem)

導入後の成果・効果

- アジェンダ作成・準備時間の短縮
- 対話の質向上とエンゲージメント促進
- 潜在的な課題・変化の早期キャッチアップ



本画像はAIとの共創によりデザインしました

日報の課題収集ツール

導入前の課題

- 日報に記載された課題の検知遅れ
- 管理者日報チェックによる管理上の負荷
- 目視による見落とされるリスク

導入後の成果・効果

- 課題発生から管理者認知までのリードタイムを短縮
- 以下の兆候を自動抽出し、組織ナレッジとして可視化
「育成課題」「業務阻害要因」「営業チャンス」

導入AI・ソリューション

- Google Workspace Flows/Gemini (Gem) /Pythonスクリプト



面接支援ツール

導入前の課題

- 初めて面接官をする際、質問や評価方法が分からない
- 履歴書や経歴書から想定する質問リストの準備の負荷

導入後の成果・効果

- 事前に候補者（AI）との壁打ちが可能となり、面接官の教育ができる
- NG判断の回答例を事前に閲覧でき、ジャッジを補助できる

導入AI・ソリューション

- AutoGen（マルチエージェントフレームワーク）/ローカルLLM（gpt-oss: 20b）



疑似上司（デジタルツイン）

導入前の課題

- 管理職、リーダーのレビュー工数の高止まり
- 部下の育成にかかる時間取りづらい

導入後の成果・効果

- 成果物の精度が低い時点で相談が可能
- ストレスなく壁打ちが可能、上司のレビュー工数削減

導入AI・ソリューション

- Gem（Gemini）※上司の適性試験、性格診断（MBTI診断）、レビュー観点メモなどを学習



寝ている間も開発は進む！自律開発AIエージェント

課題：開発の「スキマ時間」



開発が止まってしまう
時間がある

会議中、休憩中、夜間など、人が
作業できない時間は意外と多い。



APIによる自動レビュー
はコストが高い

既存のサービスを利用すると、
コストが課題になりやすい。

解決策：自律開発AIエージェント



「指示」だけで
AIが自動で実装

instruction

やることを書き、ラベルを付ける
だけでコーディングが完了する。



レビューや修正も
ラベル一つでOK

AIが自動でコードをチェックし、
人間のコメントも参考に修正する。

Gem活用によるプロンプト作成業務の変革

効率化と品質標準化の実現

課題 (Before)

生成AI活用の ボトルネック



- プロンプト作成に多大な時間要する
- 作成者による品質のばらつきが発生

解決策 (Solution)

プロンプト生成 Gem構築



- 専用Gemを構築し、社内共有
- ポータルサイトでの公開・活用促進

効果 (Result)

業務効率化と 標準化



- プロンプト作成時間を大幅削減
- 組織全体での品質標準化を達成

運用 (Point)

継続的改善の 実施



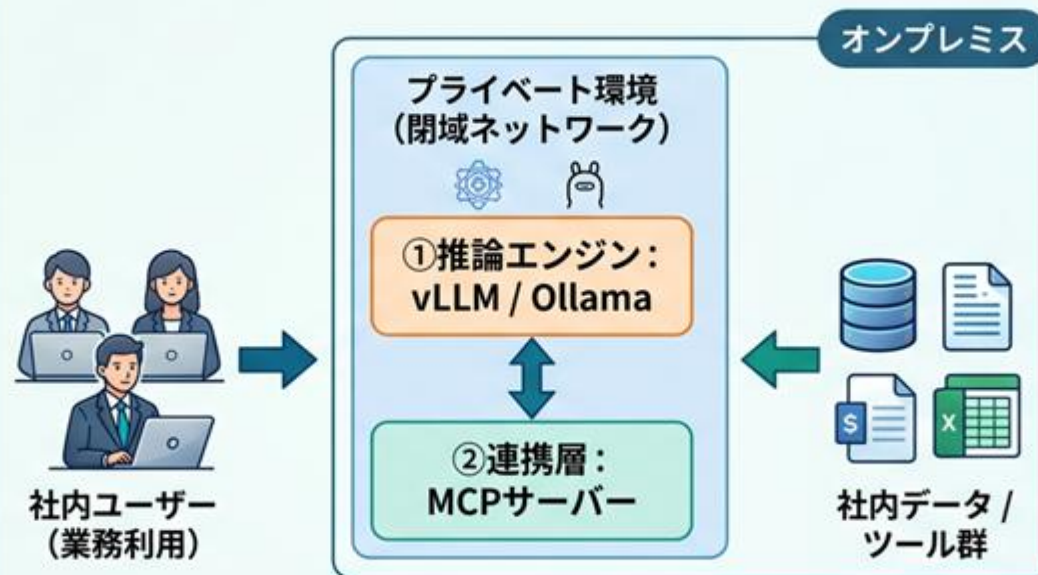
- AI生成の不確実性を認識
- 利用状況に基づき継続的に改善

社内ローカルLLM環境の構築及び技術調査

クライアントの課題

- 1 外部AIサービス利用による機密情報・社内データの漏洩 & 学習リスクへの懸念
- 2 自社業務に最適なローカルLLM推論エンジンの選定、インフラ設計の知見不足
- 3 独自の社内データ・既存業務ツールとLLMの、安全で柔軟なプラグイン連携ハブの未確立

アーキテクチャフロー



解決策

- 1 完全に独立した社内オンプレミス・閉域ネットワーク内へのローカルLLM基盤構築
- 2 高速推論の「vLLM」と柔軟な「Ollama」の複数エンジンを比較検証するPoC実施
- 3 「MCP (Model Context Protocol) サーバー」を連携ハブとし、社内データやツールと安全に連携

成果

外部へのデータ漏洩リスクを完全にゼロにした安全なAI活用基盤を実証

vLLMとOllamaの比較に基づき、最適な推論エンジン選定と将来のロードマップ明確化

MCPサーバー中核により、将来のデータ・ツール追加時も最小限の工数で安全に拡張可能

技術スタック



製造現場のDXを推進する「設備保全Agentic RAGシステム」導入事例

導入前の課題

(1) 設備エラー発生時、膨大なマニュアルや過去ログから有効な解決策を迅速に特定できない



(2) 今起きているトラブルのリアルタイム情報（稼働ログ等）を反映できない



(3) 回答の妥当性を検証する仕組みがないため誤った対策をとるリスクがある



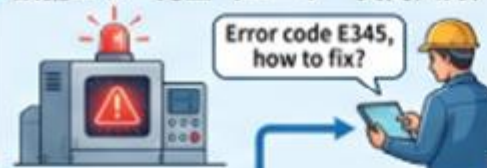
解決策

「MCP」による過去・現在データの横断検索。
AIエージェントの自律ループで確実・具体的な解決策を自動生成。



システム構成/フロー

① 設備エラー発生（ユーザー質問入力）



② AIエージェント
検索戦略決定
(MCP経由)



③ 抜本的な解決策を自動生成するループ構造に変更



④ 回答品質評価（情報不足時は再検索ループ）



⑤ 解決策提示



導入効果

(1) 発生原因の特定から具体的な復旧対策までを即座に提示可能にした



(2) AIエージェント間の議論で解決策の信頼性とファクトチェックの円滑性を担保



A I エージェント評価システム

導入前の課題



AIエージェントの良し悪しを判断しにくく、
評価が感覚的・曖昧になってしまう



プロンプトの改善作業が個人のスキルに依存しており、属人化している

解決策とシステム概要



AI出力をスコア化する
定量評価

技術スタック



ローカルLLM
(gpt-oss:20b)

プロンプト
エンジニアリング

評価フロー



1
評価用データ
セット登録



2
AIエージェント
実行



3
定量評価
(スコア化)



4
プロンプト改善
(差分比較)

導入効果



出力品質を
安定して担保可能に



評価結果が
数値化され
分かりやすく

プロンプト改善の
属人化が解消

効率的な改善
サイクルが実現



プロンプト改善の
属人化が解消



効率的な改善
サイクルが実現

GraphRAGを用いたマルチエージェント企画書レビューシステム構築

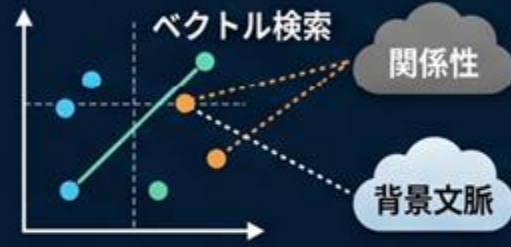
1. クライアントの課題

埋もれた知見



過去の膨大な企画書の知見が、活用できていない

従来のRAGの限界



従来のベクトル検索（通常のRAG）では、文書間の関係性などを網羅しきれない

2. ソリューション

Microsoft GraphRAGでナレッジグラフを構築。AIエージェントによる自動レビュー



ハイブリッドアプローチ（知識グラフ統合）



3. アーキテクチャフロー

社内データ
（企画書）



社内データ
（企画書）



GraphRAG

LLM
（AIエージェント）



LLM
（AIエージェント）

ユーザー
（新規企画書対話）



ユーザー（新規企画書レビュー・対話）

4. 成果

高精度レビュー



従来（従来RAG）を超える高精度な自動レビューをPoCで実証

工数大幅削減



いつでもAIエージェントと相談でき、工数と時間を大幅削減

知識グラフ資産化



社内知見をナレッジグラフで資産化し、意思決定支援に活用

Plant Robot（社内システム）

顧客課題と解決内容

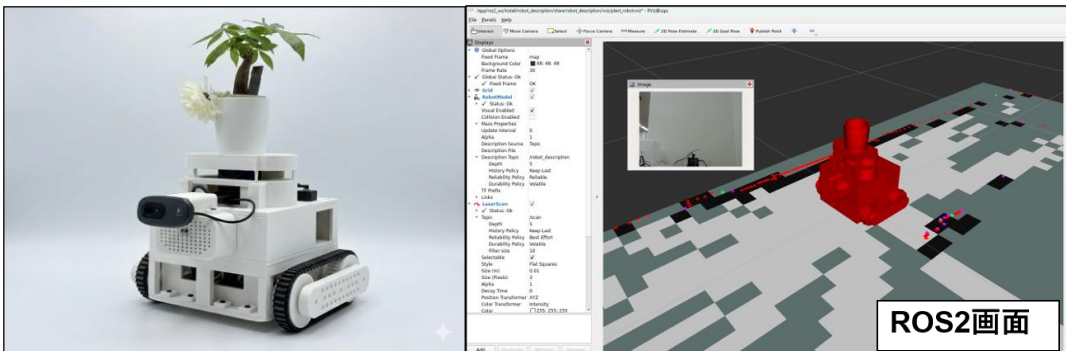
BEFORE: 現状の課題

- 「声を持たない存在」は異変を発信できない。
- 外見や経験則に頼るため、ケアの遅れがリスク。

AFTER: 解決策

- センサ情報をラズパイ搭載AIへインプット。
- 植物の感情を代弁し、対話でケアをサポート。

ロボット外観コンセプト



システム概要と技術要素

ROS2による自律走行と最新の生成AIを統合したエッジ&クラウド連携システム。AIによるコード自動化で開発効率を向上。

✓ROS2による移動機能

✓SLAM (自己位置推定)

✓AIエージェント対話

✓土壌湿度リアルタイム監視

ラズベリーパイ

Docker

ROS2

Python

OpenClaw

AWS

React Native

システム構成図



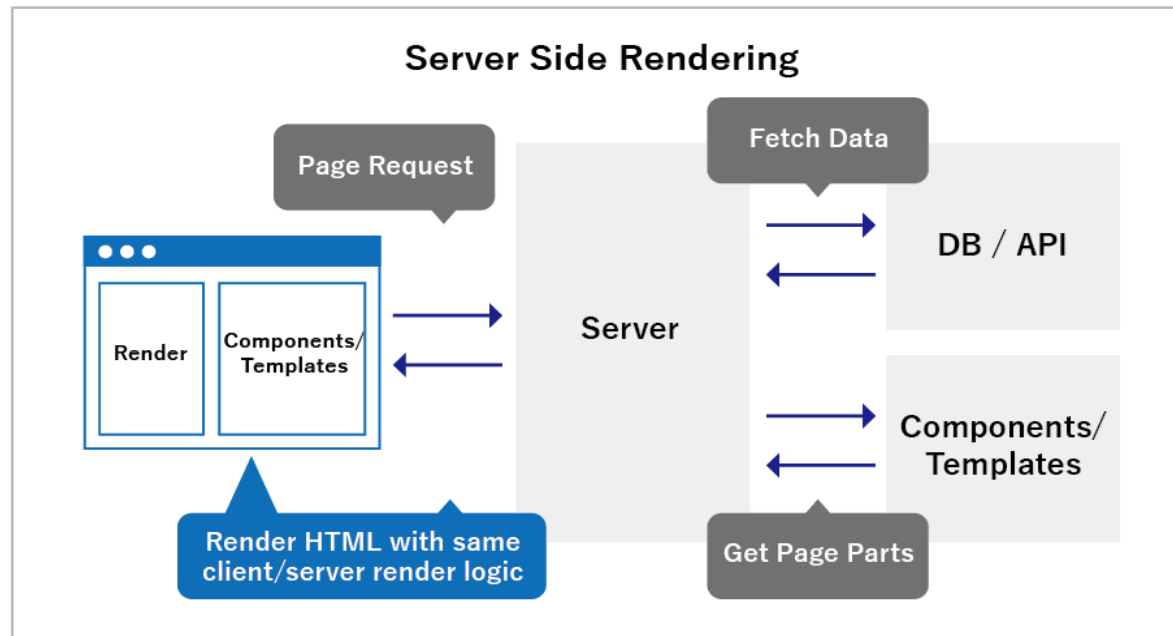
その他・開発トピック

AIツールを積極的に活用し、コーディングの自動化とデバッグの高速化を実現しました。

Nuxt.jsによるSPA・SSRの開発

ユーザの操作性向上のため、ページの部分を高速に繊維させる技術としてSPAを取り入れたことでユーザの待ち時間が少なく、サクサク操作できる

SSRをVue.jsベースで手軽に実装できるNuxt.jsを使った開発を行います。



発生前に問題を予測するためのAI活用

Anomaly Detector

早期に問題を検出してビジネスの信頼性を向上

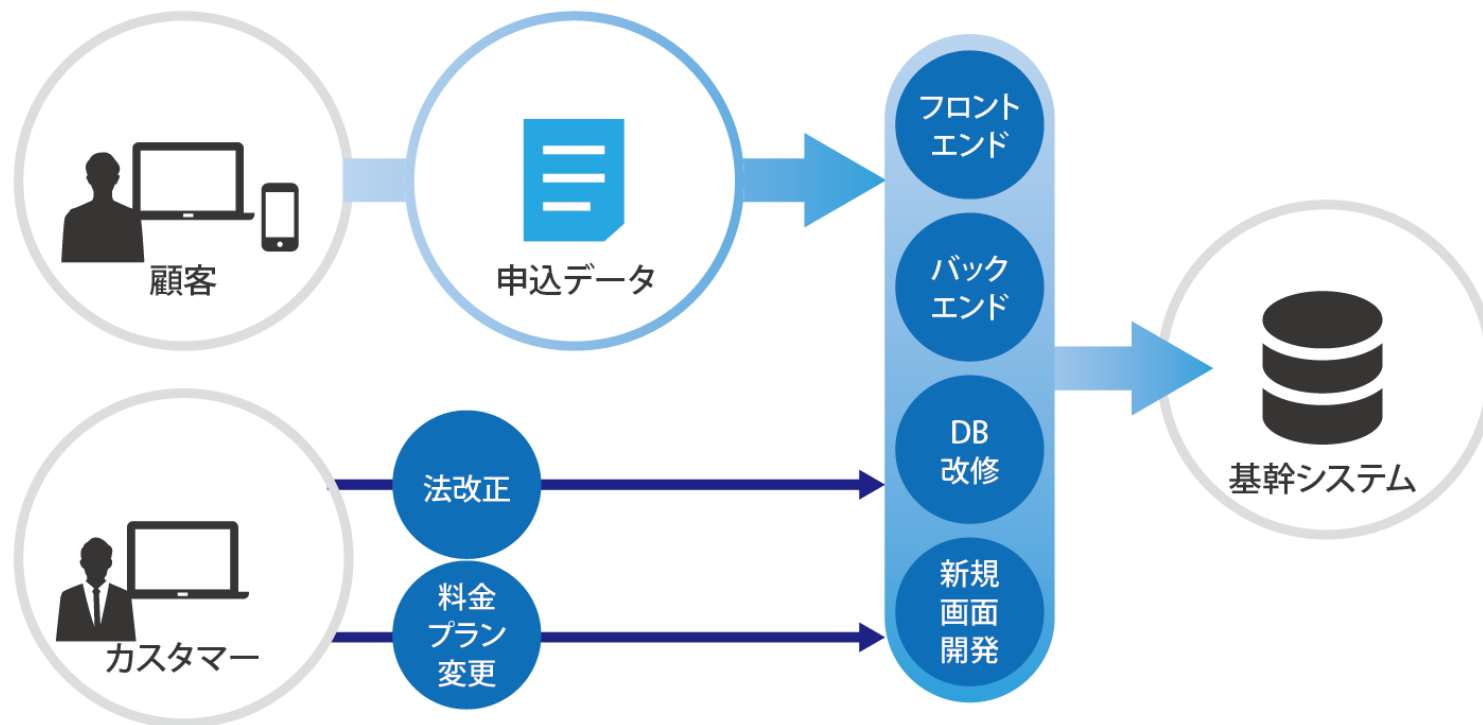


エネルギー事業様向け 申込情報管理システムの保守開発

顧客の各種申込情報を基幹システムへ連携するWeb公開システムの保守と開発。

顧客の各種申込情報を基幹システムへ連携するWeb公開システムの保守と開発。

法改正や料金プラン変更などによるフロントエンド・バックエンド・DBの修正・新規画面開発を行う。



バイブコーディングによる工数管理システム構築

システム概要と技術要素

- プロジェクト情報の管理
- 作業時間の入力（実績・見積工数）
- 顧客管理
- GitLabとの連携（認証・トピック管理）

技術スタック

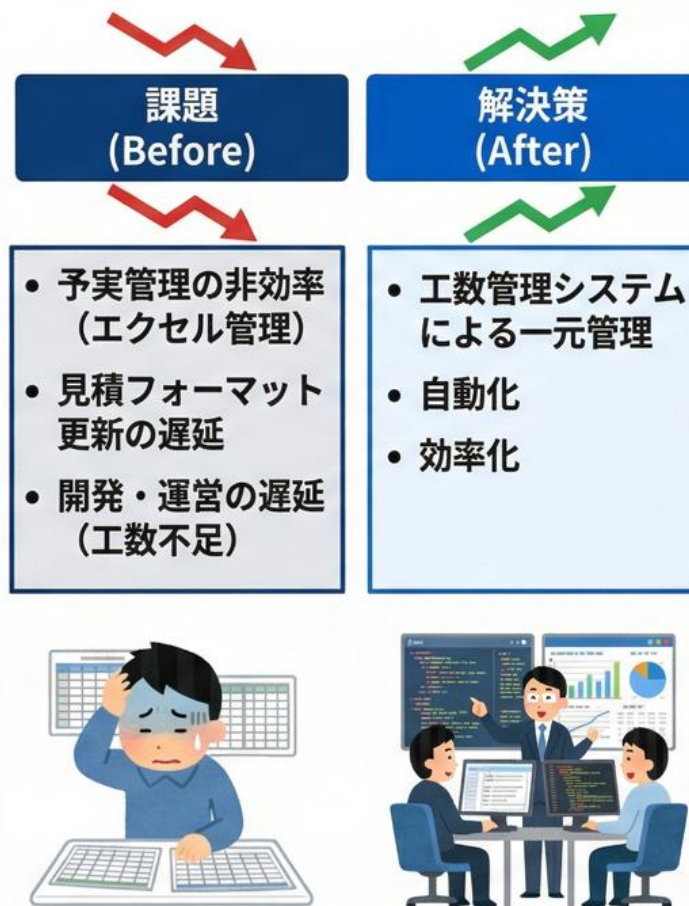


AIツール

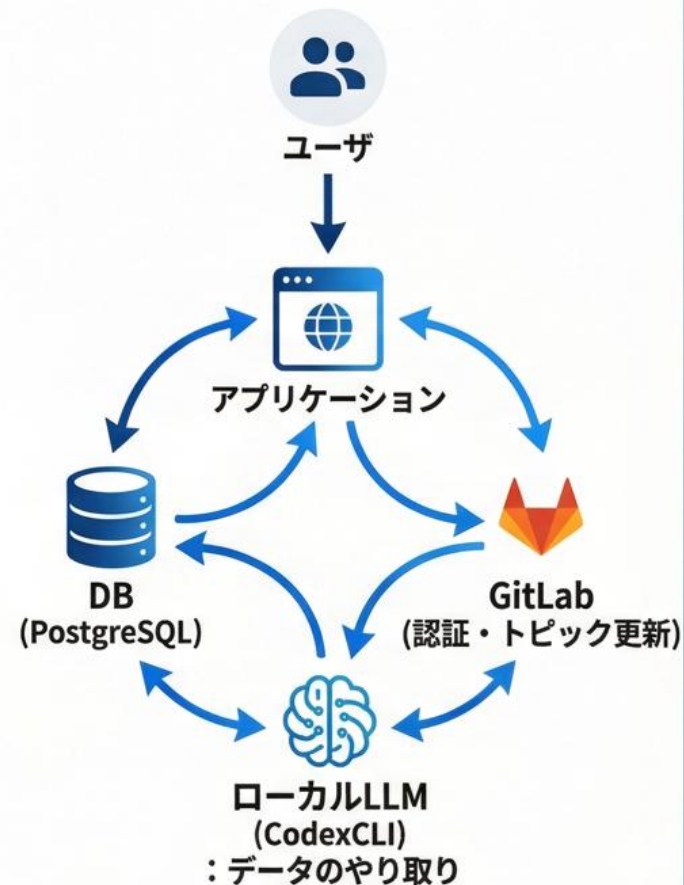
- CodexCLI（ローカルLLM）
- バイブコーディング

AI活用によるコーディングの自動化

顧客課題と解決策



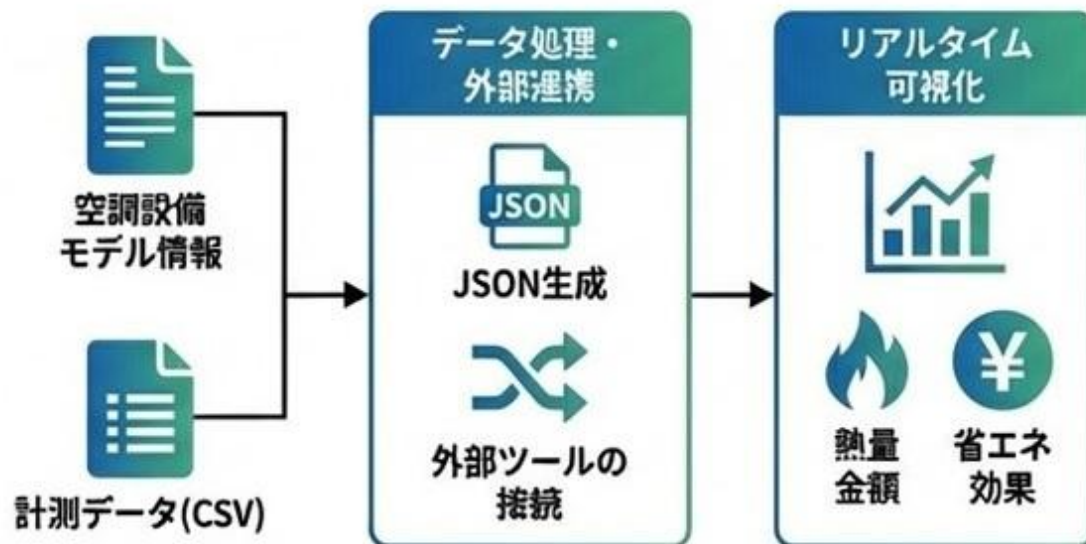
システム構成図



空調設備の熱量・省エネ性能シミュレーションシステムの開発

熱量、金額、省エネ効果を算出・可視化を実現

システム概要



計測データからJSONを生成し外部ツールと連携。
計算結果をリアルタイムにグラフ表示。

主な技術要素（技術スタック）

フロントエンド:



バックエンド:



クラウド/インフラ:



データ形式:



研究室オートメーション化への開発支援

クライアント

電気機器メーカー

顧客課題

研究室の機器操作を自動化、
夜間に自動運転することで
作業効率化を計りたい。

主な技術要素

- ・ Docker
- ・ Vue3
- ・ FastAPI
- ・ postgresql
- ・ mosquitto
- ・ 通知機能

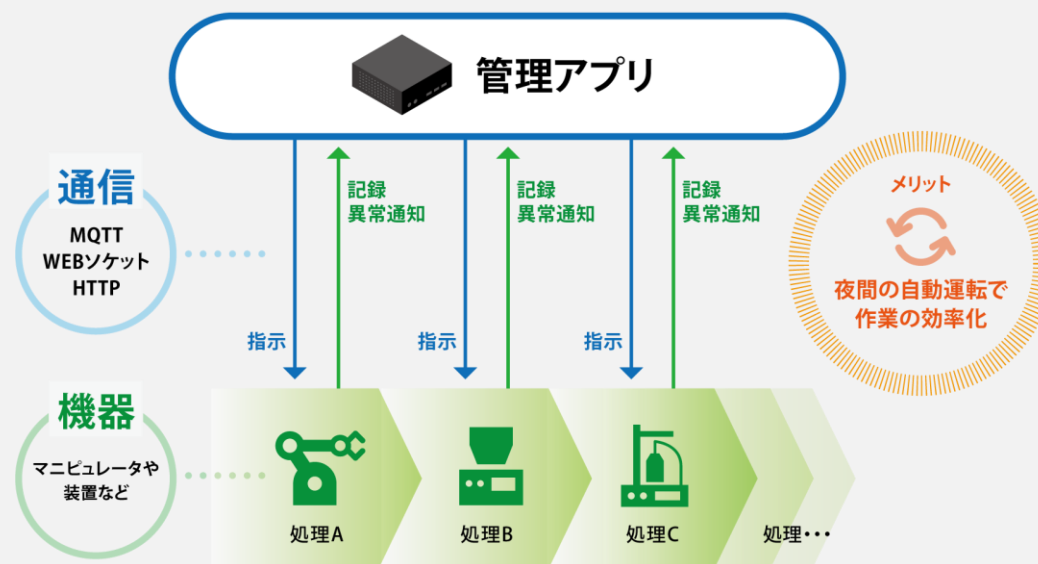
(firebase プッシュ通知、teams webhook)

開発内容

研究室の機器を自動操作する管理アプリの開発

- ・ 管理アプリが各機器の状態や設定情報を取得
- ・ シナリオに沿った作業指示を行っていく

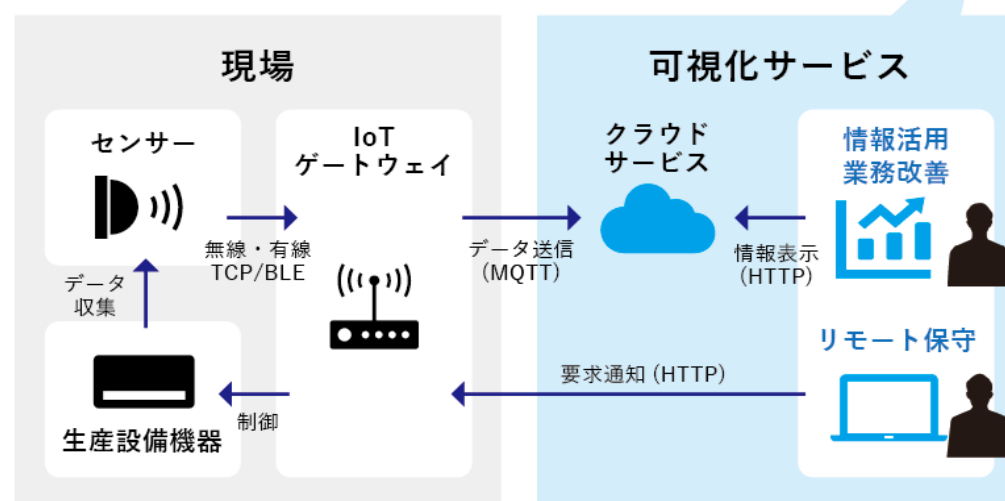
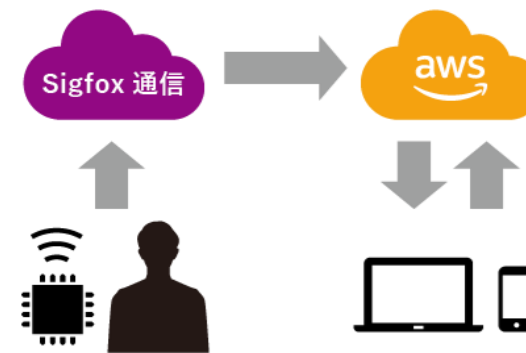
機器操作を自動化



Sigfox通信とAWSによる製品のIoT化

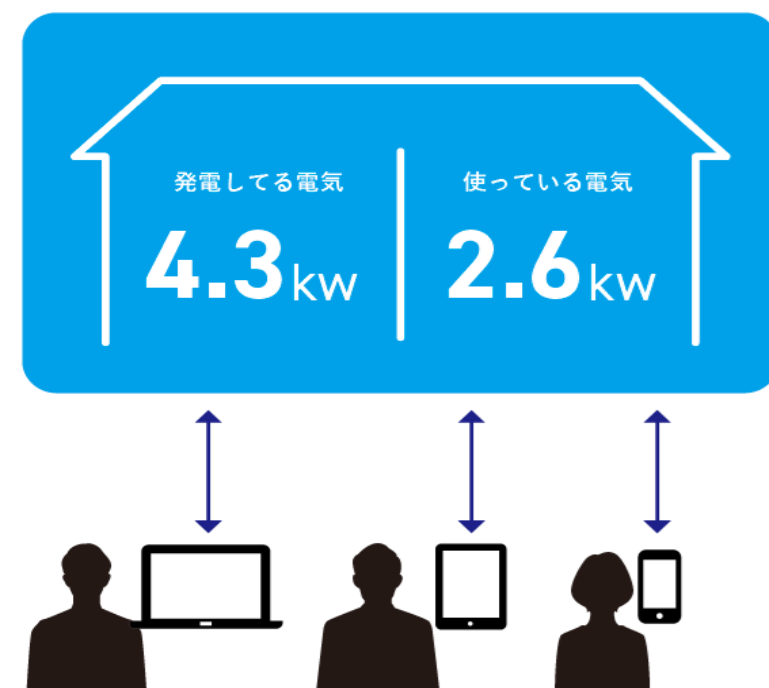
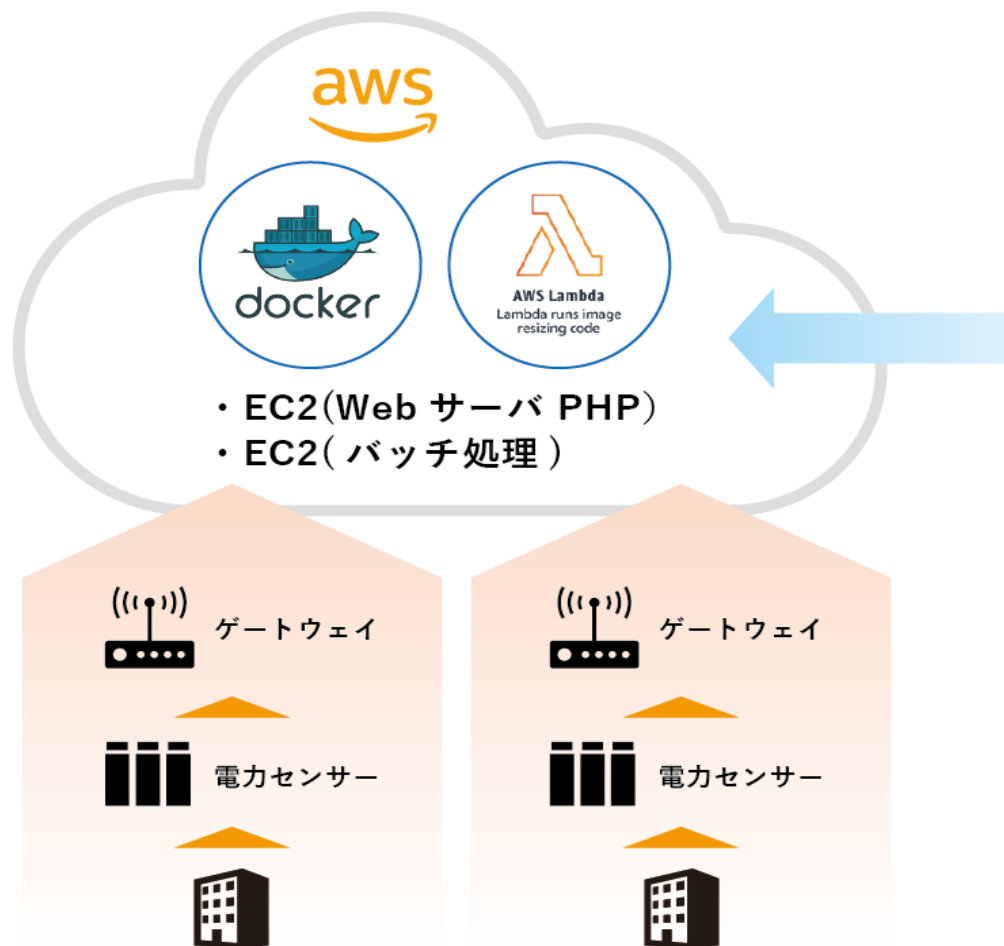
準備・開発コストの削減

既存の製品にセンサーを取り付けることで
環境データとユーザーデータの収集を可能にしました。
製品化に向けた実証実験において、Sigfox規格を採用することで
ゲートウェイや通信手段の準備コストの削減、
AWSサービスを活用することで開発コスト削減を実現しました。



遠隔エネルギー監視

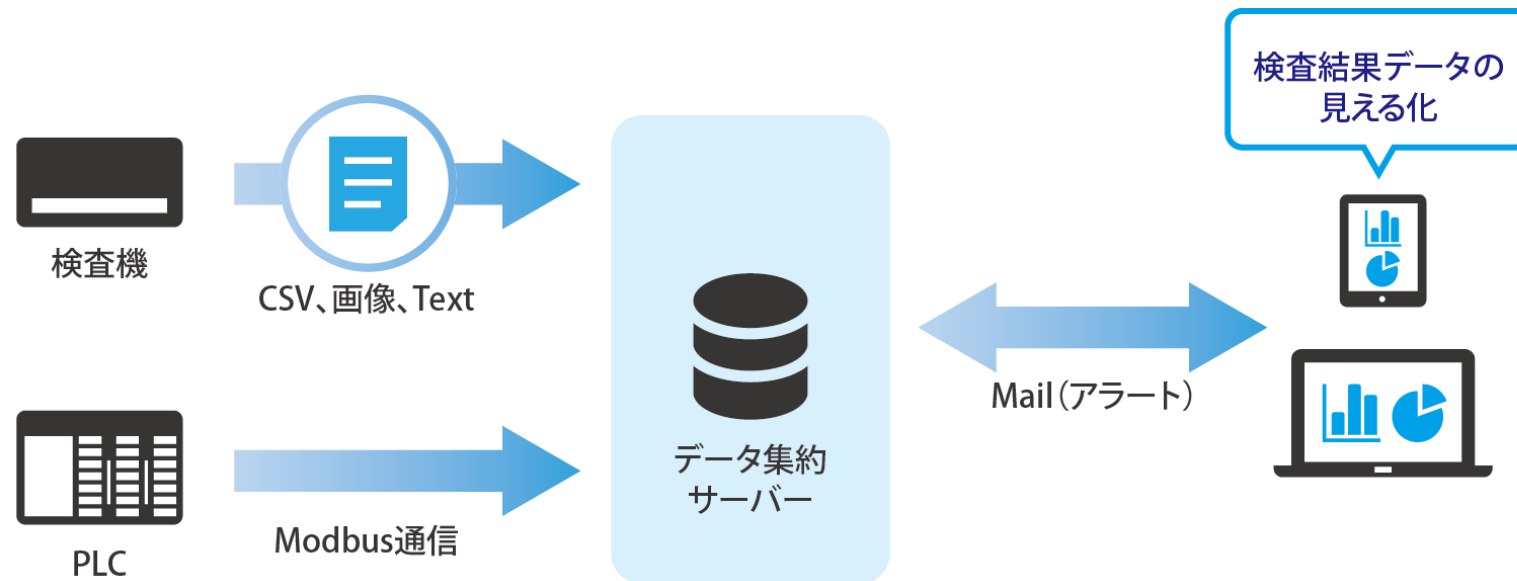
エネルギーの効率的な利用に貢献



外観検査機 検査結果データ収集システム

検査機に関するデータを収集し、PCやタブレットなどで検査結果を見える化するシステムの構築。

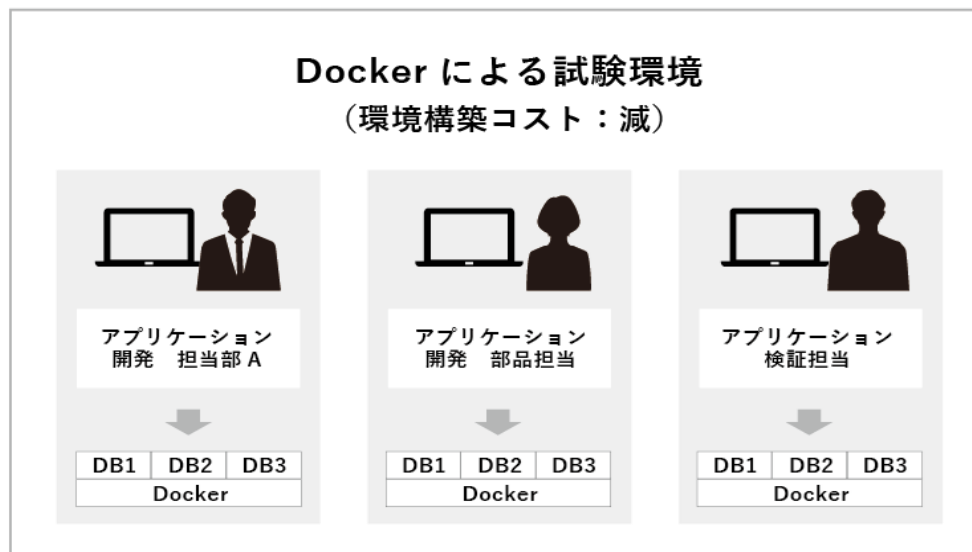
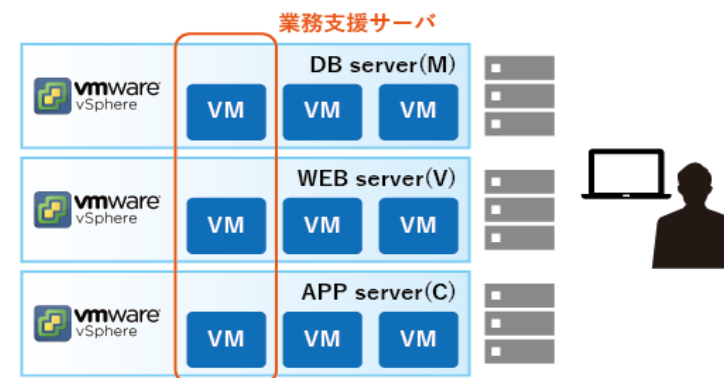
- ・ 検査機の情報直接、またはPLC経由で収集するデータ収集制御を実現
- ・ Web UIによる見える化を実現



電力会社向けシステムリプレイス

電力会社向けデータ収集ユーザ業務、支援サーバの再構築

既存システム構成からの拡張性やメンテナンス性を考慮した変更提案、vSphereによるサーバ構成仮想化と標準化、既存ソフトウェア構成からの機能分割によるソフトウェア構成再設計を実施。また、PostgreSQLを使用したデータ冗長化やOracleとのDB連携、更にUIとしてExcelVBAから、PHPによるWebGUIを実現しました。



AWS CDK (IaC)

クライアント

情報サービスメーカー

顧客課題

インフラ業務において、
運用の属人化をなくしたり、
開発サイクルの高速化など
最適化を図りたい。

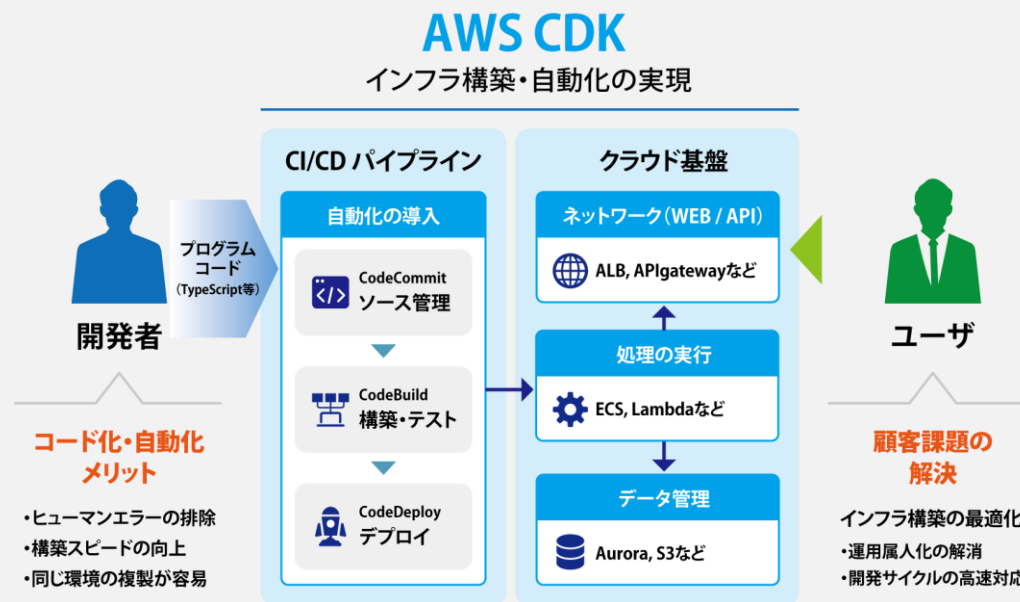
主な技術要素

・ AWS CDK

開発内容

AWSのインフラ構築をプログラムコードで記述し、自動化を実現

自動化によりヒューマンエラーの排除など開発業務の質を高めながら、
運用の効率化など顧客の課題も解決していく。



年度・部門別、プロジェクト単位の生産効率可視化

◎ 顧客課題とニーズ

- ❌ 蓄積されたリソースやQCD情報のデータを分析・可視化し、業務効率化や品質向上を図りたい。
- 🔄 継続的な改善のため、最新データを定期的に更新・反映し、データの最新化を維持したい。

💡 ソリューション

- ✅ AWS環境で蓄積データを統合。Amazon QuickSightによる直感的なダッシュボードを構築・表示。
- 🔒 Amazon WorkSpacesを活用。セキュアな環境下でデータの定期的な更新処理を実装。

★技術的優位性

AWSネイティブサービスを活用したクラウドインテグレーションにより、インフラ負荷を最小化。迅速かつセキュアなデータパイプラインを構築し、お客様のデータドリブンな意思決定を強力にサポートします。

🖥 システム概要

蓄積されたデータをAWS上で統合し、Amazon QuickSightをフロントエンドとして活用。年度・部門別、プロジェクト単位の生産効率を可視化し、組織全体での情報共有を可能にします。



📦 ダッシュボード公開までの流れ

- 1 データ準備・インポート**
S3/Athena、RDSなど様々なソースへ接続しデータ準備を実行。
- 2 ビジュアル作成・分析**
ビジネス要件に応じたグラフ配置を行い、ダッシュボードを構成。
- 3 公開・セキュアな共有**
本番公開し、部門間でセキュアに情報を共有・最新化。

本画像はAIとの共創によりデザインしました

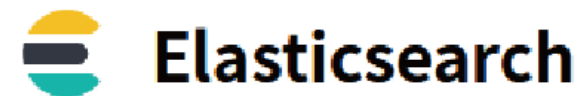
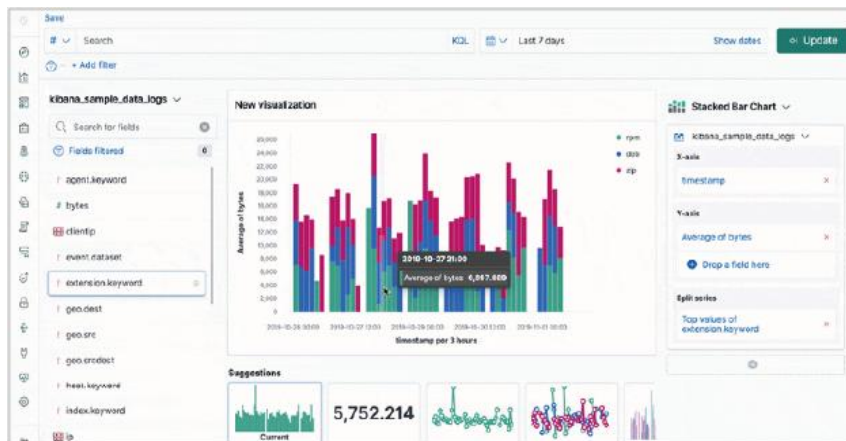
OSS活用（可視化ツール）

データ分析（BI）のプラットフォームとして活用できそうな可視化ツール



データ探索・可視化・分析

データを可視化し、データ間の関係性を探るための
独自の方法を作成する能力
追加のコーディングやインフラは不要
強力な異常検知システム
Elasticsearch（検索）との連携が良い



分散型検索/ 分析エンジン

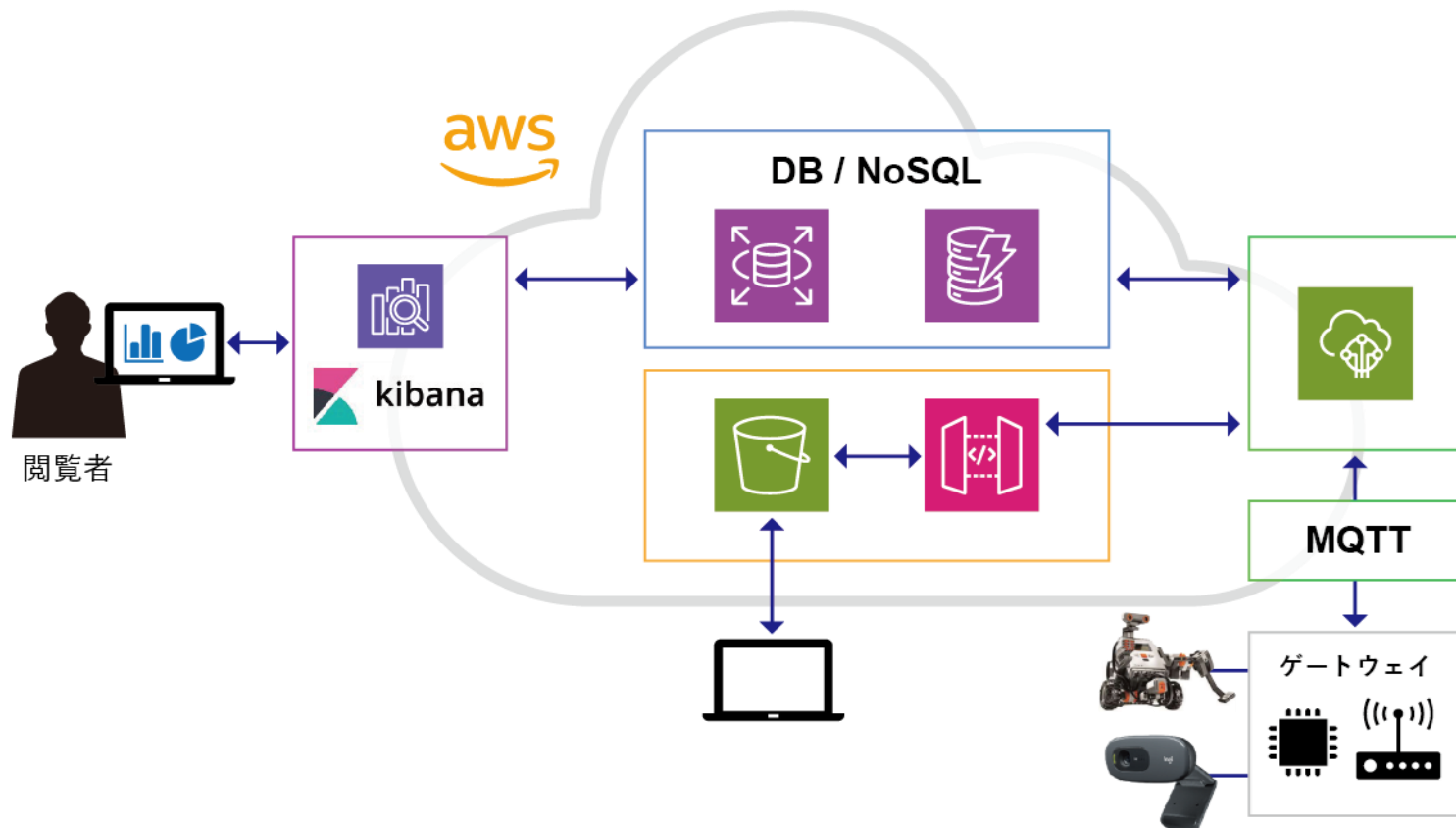
Elasticsearchは Elastic社が開発している
オープンソースの全文検索・分散型RESTful検索/ 分析
エンジンです。
超高速検索や、関連性の細かな調整、パワフルな分析が
大規模に、手軽に実行可能です。



IoTソリューション（AWS活用）

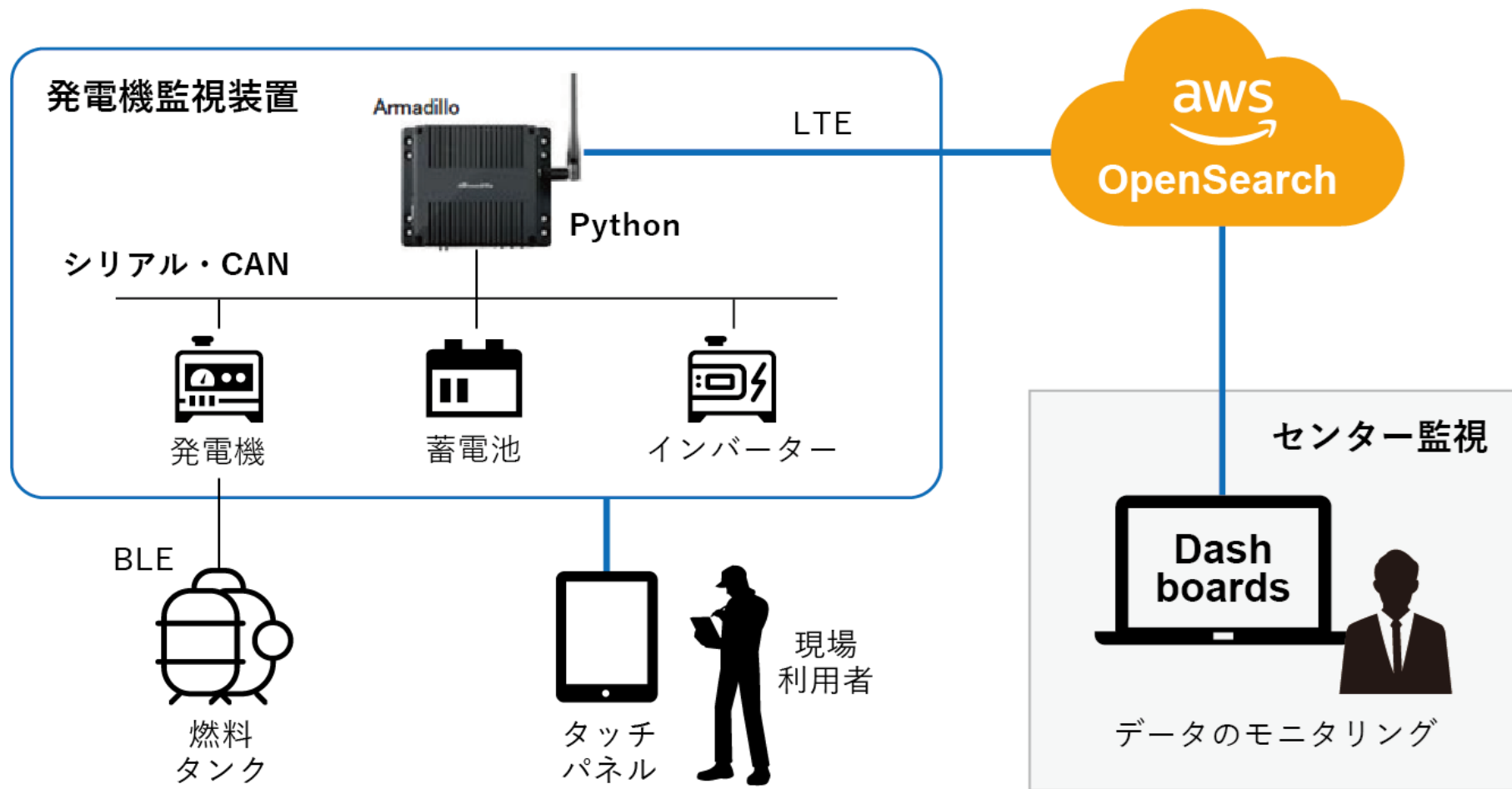
データを収集・蓄積し、見える化

センサやPLCなどのデータをゲートウェイで集めて、クラウドやオンプレに蓄積し見える化する



エネルギーの見える化

バッテリー装置情報を収集するゲートウェイシステムの開発

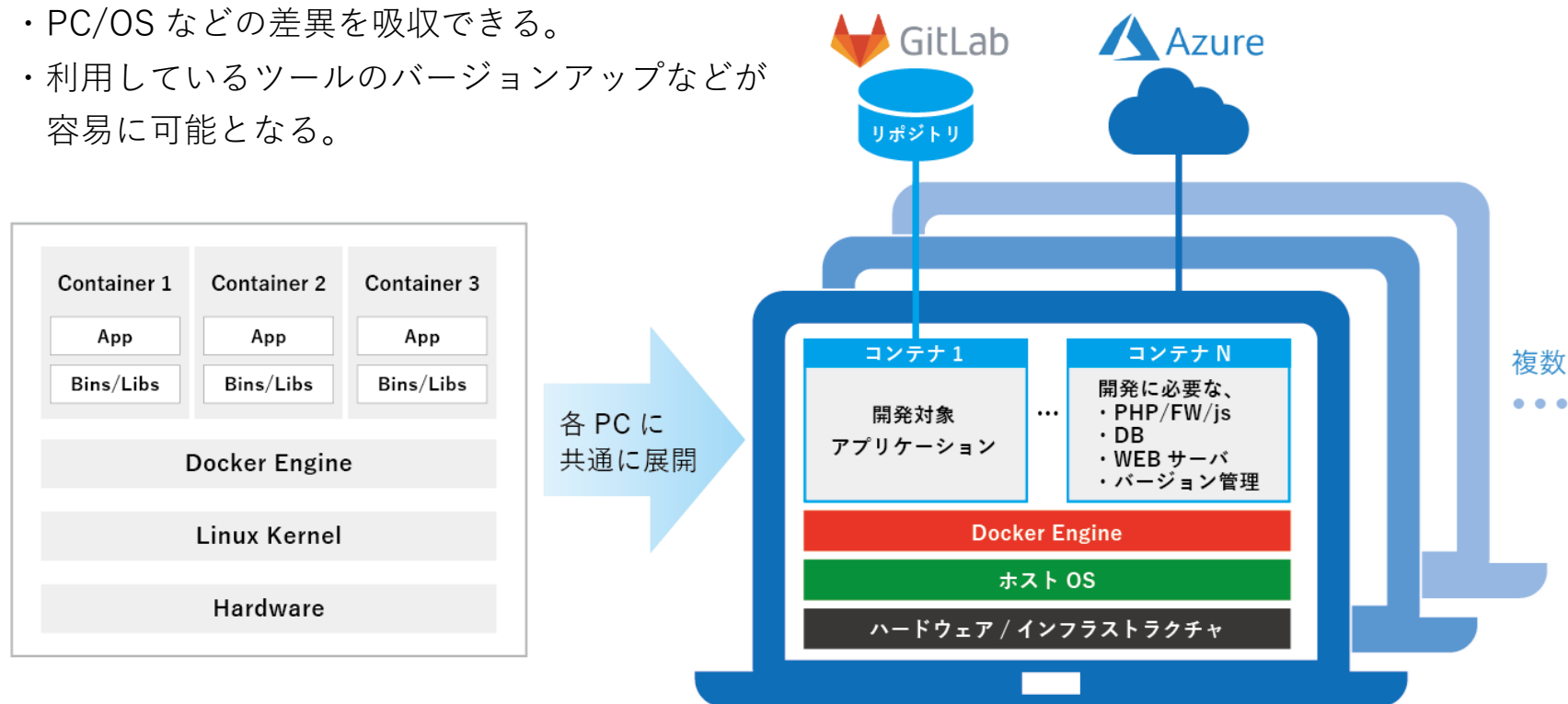


開発環境へのDockerの利用

開発環境の整備

クラウドを利用したアプリケーション開発において、複数の開発者が利用できる共通の環境を提供する

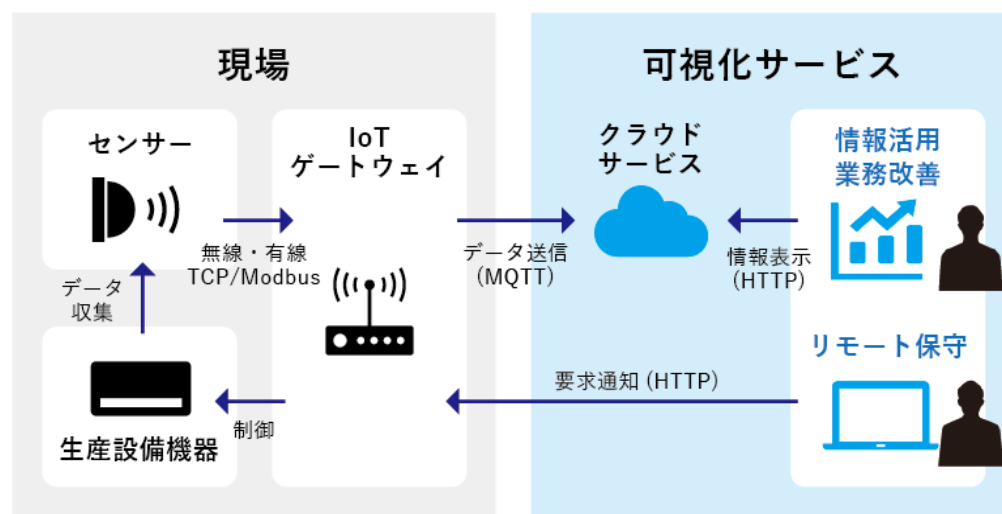
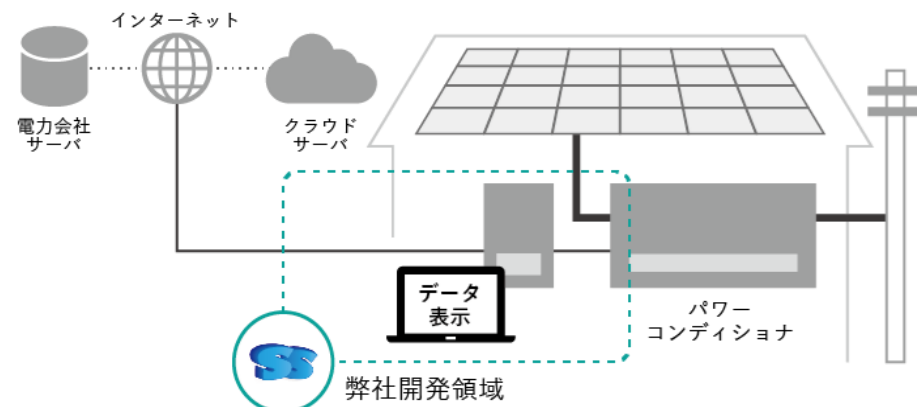
- ・ PC/OS などの差異を吸収できる。
- ・ 利用しているツールのバージョンアップなどが容易に可能となる。



太陽光発電・出力制御ゲートウェイシステム

パワーコンディショナのゲートウェイ装置・表示装置の制御アプリケーションを開発

独自プロトコルでのパワーコンディショナ通信、HTTPSによるクラウド通信、WEB画面によるデータ表示・設定など、ゲートウェイ装置に必要な全機能の制御アプリケーションを開発。派生機種、機能追加などの開発案件を長期間継続して担当しました。



機能強化 (ECHONET Lite)

- ⇒ 遠隔ソフトウェア更新
- ⇒ 自家消費制御機器リプレイス
- ⇒ ZEH優先対応

マルチ蓄電への各種設定変更

- ⇒ 産業システム設定
- ⇒ ユニット単位設定
- ⇒ 並列時の許容設定

電子チップ良品・不良品識別精度の向上



顧客課題

- Halcon新機能の検証
- 既存システムへの組み込み



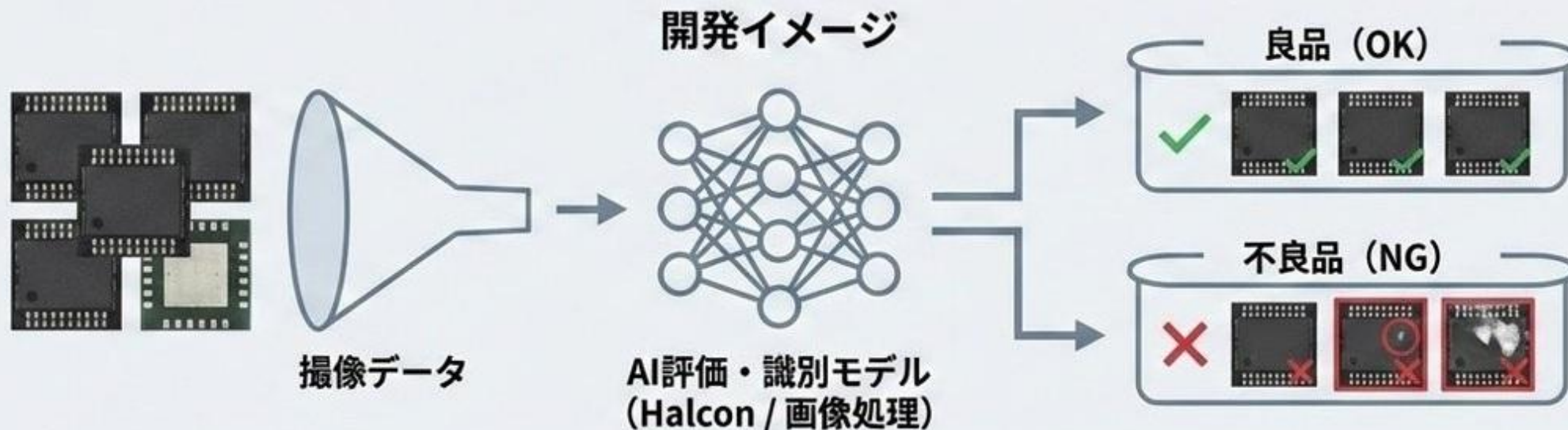
開発内容（解決策）

- AIを活用した画像評価・識別モデルの開発
- 撮像された電子チップ画像による学習
- 良品・不良品の識別精度向上



主な技術要素

- Halcon
- 画像処理技術



空調・設備機器の制御管理システム

クライアント

大手空調機メーカー

顧客課題

クラウド環境で開発したシステムをローカル環境に移行したい。

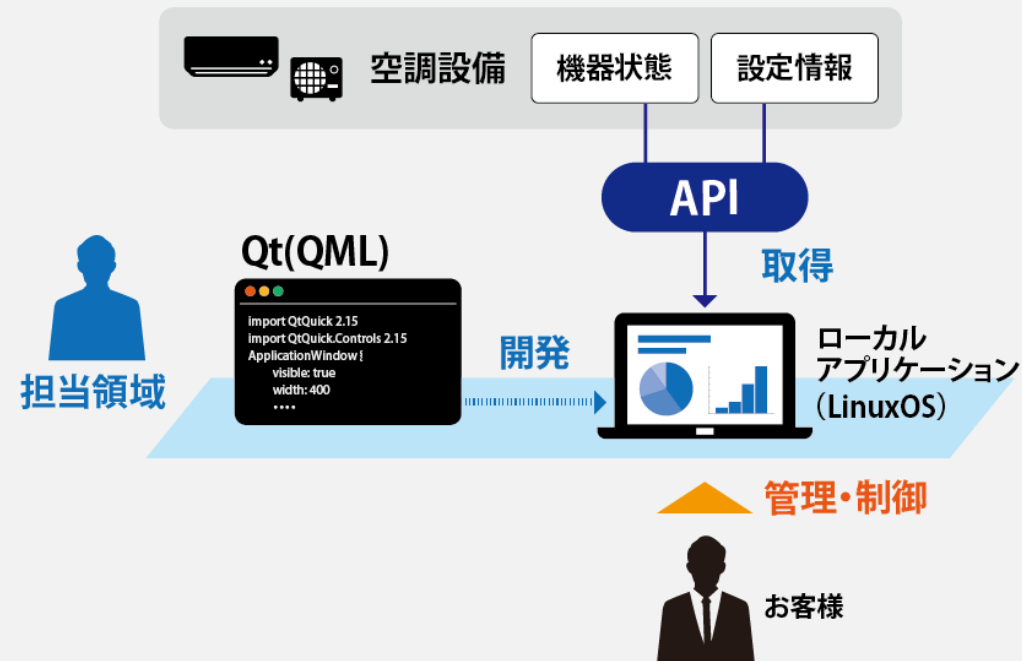
主な技術要素

- ・ Qt
- ・ QML
- ・ C++
- ・ RestAPI

開発内容

空調・設備機器の管理・制御するシステムをQt（QML）を用いて開発

- ・ API経由で各機器の状態や設定情報を取得
- ・ Qtでローカルアプリケーションとして実現



医薬品工程管理システム

顧客課題と解決内容

課題：新規センター設立に伴い、工程管理の自動化を実施したい。

解決：制御サーバアプリケーションを開発し、倉庫連動型運搬装置の精密制御を実現。ハンディターミナル(バーコード読取)とタブレット(工程手順先導)を連携させた堅牢なマルチデバイス基盤を構築。デジタル化により、作業効率大幅向上とヒューマンミスの削減に大きく貢献。

システム概要・技術要素

Windows Server 2022とC#を中核とした堅牢なアーキテクチャ。WPFによる直感的なUIを提供。

C#

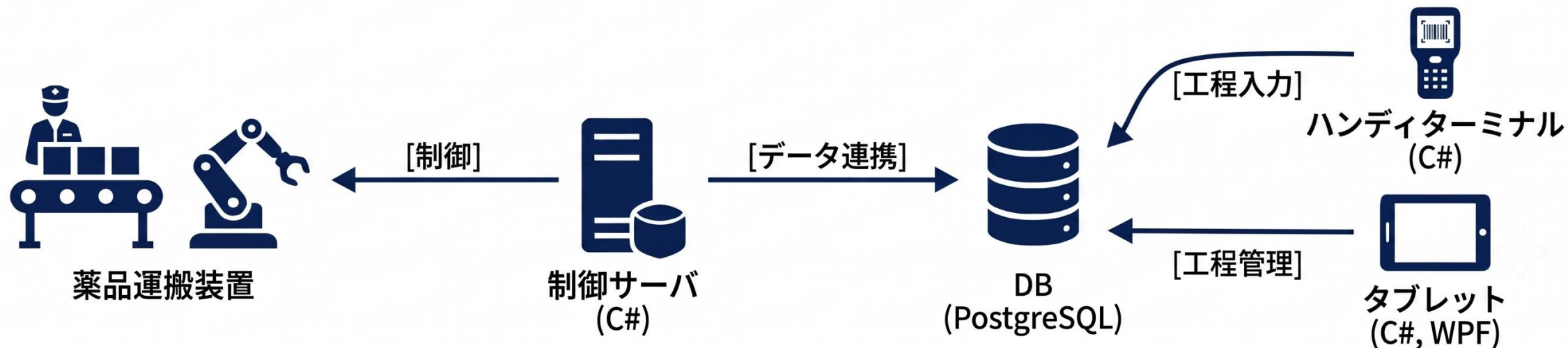
WPF

PostgreSQL

Win Server 2022

開発範囲：設計～結合テスト、現地対応。

システム構成図

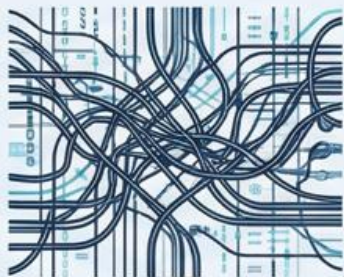


製造現場のデータ活用・エッジ開発

顧客課題とアプローチ

顧客課題
(Before)

専用プログラムなし
での収集・分析・可
視化を希望

提案アプローチ
(Solution)

汎用技術（Python,
Grafana）とテンプ
プレート化による構築



技術要素と開発内容

主要技術要素

- Grafana
- Python
- Modbus TCP/IP
- EtherNet/IP



開発内容

- 主要指標データテンプレート作成
→ Grafana/アプリへ自動設定
- Grafanaの設定
- データ収集簡易スクリプト
作成（Python）

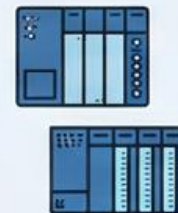


開発イメージ（データフロー）

センサ



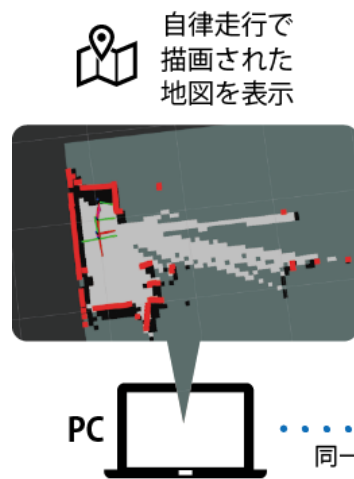
センサー エコーダー

コントローラ
(PLC)エッジ処理
(Pythonスクリプト)可視化・分析
(Grafana)

自律走行のシステム構築

ROSで人間の操作なしにロボットを自律走行

ロボットが地図を作成
経路を計画し、移動する



同一の ROS ID

ライトローバー
(ロボット)



活用例

倉庫・物流
商品ピック・移動

大規模オフィス
点検サービス

商業施設
配膳・案内サービス

自律走行を支える技術・ツール

Raspberry Pi

ROS
(Robot Operating System)

LiDAR

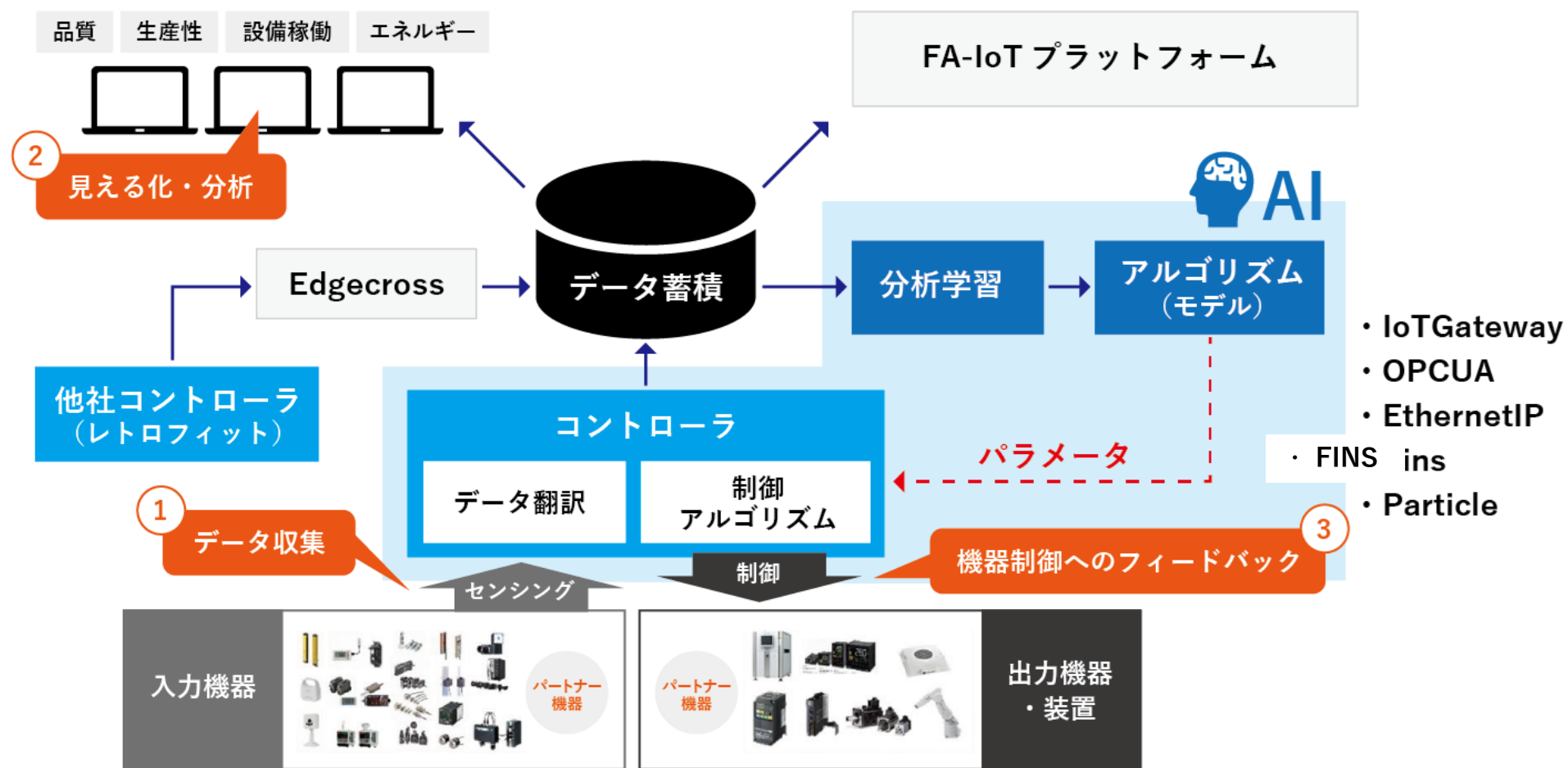
SLAM

Nav2

Raspberry Pi はRaspberry Pi 財団の登録商標または商標です。ROS はOpen Source Robotics Foundation, Inc. によるオープンソースのプロジェクトです。その他、記載されている製品名などの固有名詞は、一般に各社の登録商標または商標です。

データ活用基盤開発

PLCや外部機器の情報を収集するデータ収集システムの構築



BEMSゲートウェイ

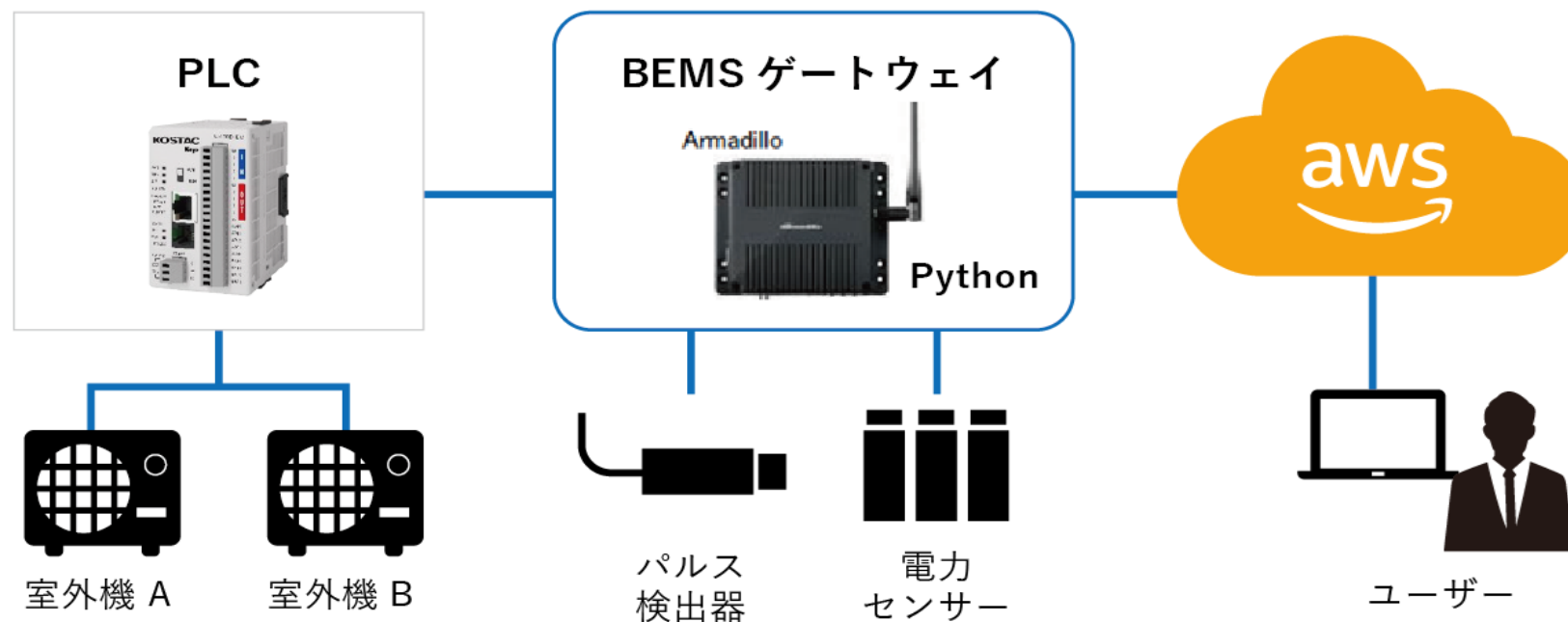
ゲートウェイ経由でPLC・装置を制御（自動化）

センサー・デバイスでデータ取得 ⇒ クラウドに蓄積 ⇒ 通知、見える化

商業施設や病院、ビルの空調設備の省エネに関する情報を収集する

ゲートウェイシステムを開発しました。

遠隔空調（出力）制御により、エネルギーの効率利用に貢献いたします。



業務改善ツール導入支援

クライアント

大手制御機器メーカー

顧客課題

自社パッケージをお客様に導入いただく際に、高品質のサポート・顧客対応をすることで顧客満足度の向上を図りたい。

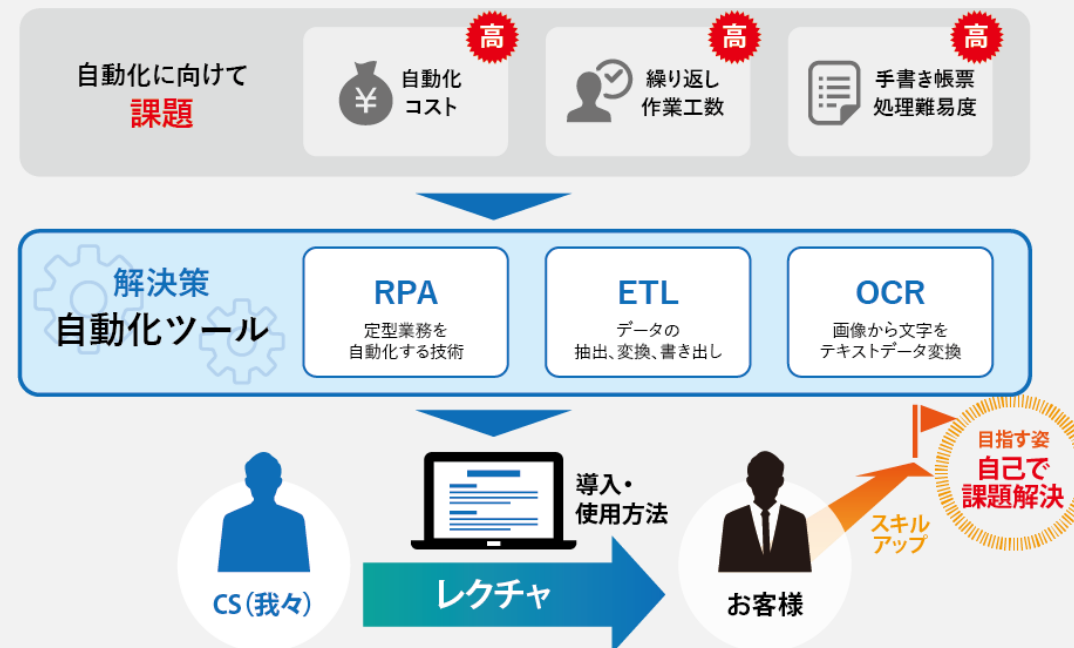
主な技術要素

- ・教育スキル
- ・対顧客コミュニケーション力
- ・自動化ツール利用
- ・MS Office

開発内容

ノーコードの自動化ツールの導入サポート・顧客教育を実施。

将来、顧客自身でこのツールを使いながら業務課題改善ができるよう、オンラインにてツールの使用方法などをレクチャ。



大規模基幹システムのモダナイゼーション推進支援

顧客課題

現行システムの保守運用リスク・コストの増大

アプローチ

自動化ツールと生成AIを駆使し、AsIs分析から品質管理までを包括的に実施することで、高効率かつ高品質なモダナイゼーションを推進。

Step 01

1. 入力（分析）



- 既存設計書からシステム機能を抽出
- Excelスキルを駆使した大規模システム仕様の解読
- 現状（AsIs）の資産棚卸と構造分析の実施

Step 02

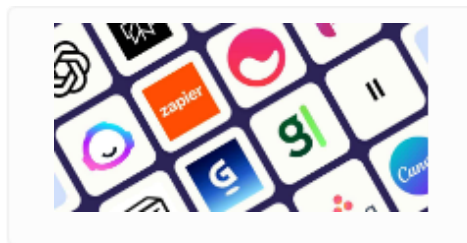
2. 出力（標準化）



- 共通フォーマット・ルールに基づく「システム機能一覧」の作成
- プロジェクト全体の記述ルールの策定と浸透を主導

Step 03

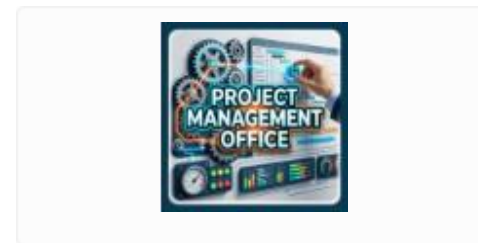
3. 処理（自動化・AI）



- PowerShell/Power Queryによる品質管理ツールの開発
- 生成AIによる文章解析・平仄チェック・ナレッジベース構築支援
- 手作業を排除し整合性を担保

Step 04

4. PMO支援



- エンドユーザとの共通ルール協議を直接対応
- 技術窓口として各システム担当の質疑に応答
- 認識齟齬の早期解消に貢献しプロジェクトを加速

採用コンサルティング [大手生保会社様]

約1,500名規模の某大手生命保険会社のIT子会社様に対して、採用業務支援を実施

【課題】

- ・新卒採用における競争激化・母集団形成の苦戦
- ・要員不足によるプロパー業務のひっ迫

【取組み】

- ・新卒採用における母集団形成、ナビサイト運営、インターンシップ運営業務改善を支援
- ・ダイレクトメール、スカウト送付の企画・実行、ナビサイト運営ベンダーとの折衝、効果測定を通じて、インターンシップエントリー数前年比366%を実現
- ・インターンシップでは、プロパー代行として学生へのフィードバックや運営のサポートを担当

